

ケアプランデータ連携システムをご存じですか？

ケアプランのやり取りにこんな悩みを抱えていませんか？

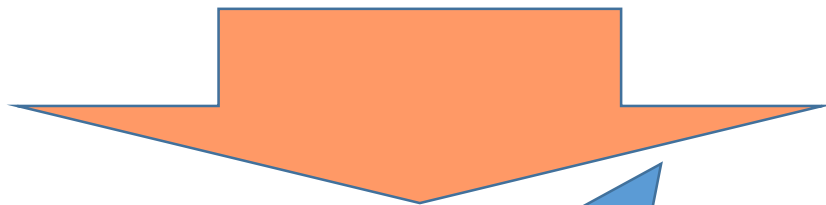
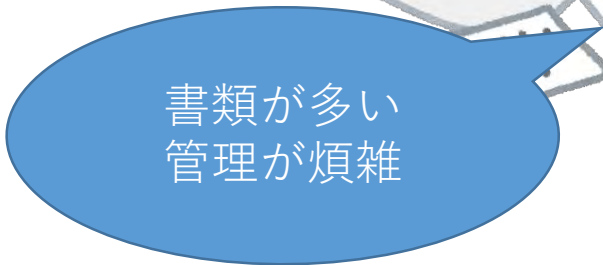
手入力が多くて
ミスしてしまう



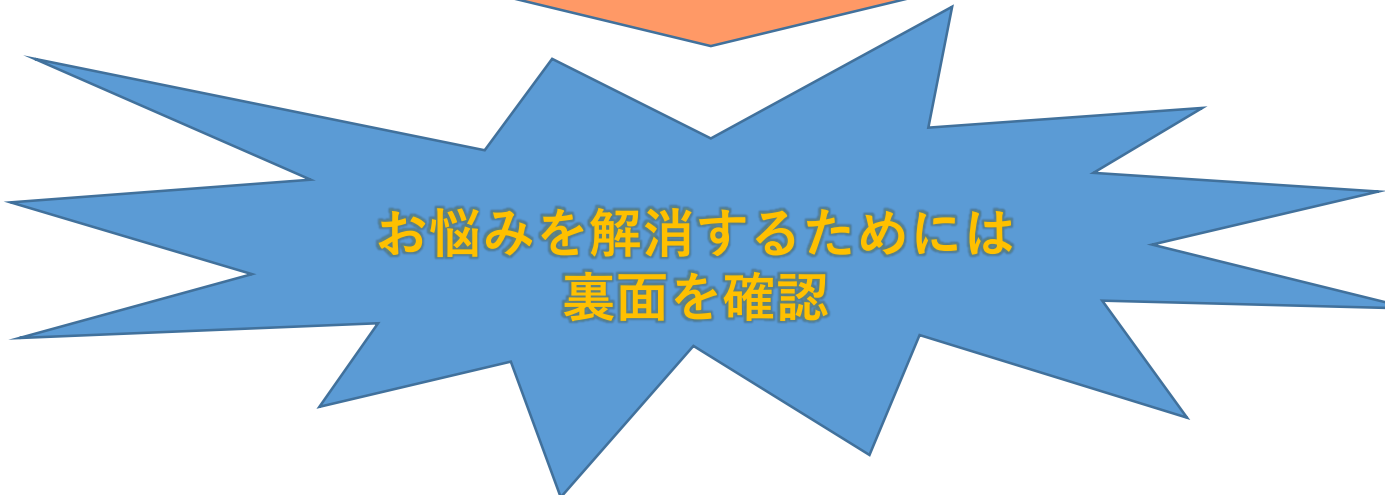
FAXや郵送の
やり取りが
面倒



書類が多い
管理が煩雑



**お悩みを解消するためには
裏面を確認**



ケアプランデータ連携システムとは

簡単操作でオンライン上でケアプランをやり取りできるので、煩雑な管理や郵送から解放され、コスト削減も期待できるシステムです。

導入までの流れ

Step0

事前に

お使いの介護ソフトが「**ケアプラン(標準仕様 第2、3版)**」が対応しているか確認

Step1

購入

専用サイトでケアプランデータ連携システムの利用申請（利用規約に同意＝購入）

Step2

インストール

ケアプランデータ連携システムをダウンロードし、パソコンにインストール

Step3

電子証明書発行

電子証明書が無い場合、発行申請が必要
証明書を取得してパソコンにインストール

Step4

利用スタート

準備完了
ケアプランデータのやり取りが簡単に！

同地域の介護事業所の利用状況を確認するには以下のサイトをご覧ください。

【WAMNET ケアプランデータ連携システム利用状況サイト】

<https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>

詳しくは以下の電話やサイトに問い合わせください。

【ケアプランデータ連携システム ヘルプデスク】

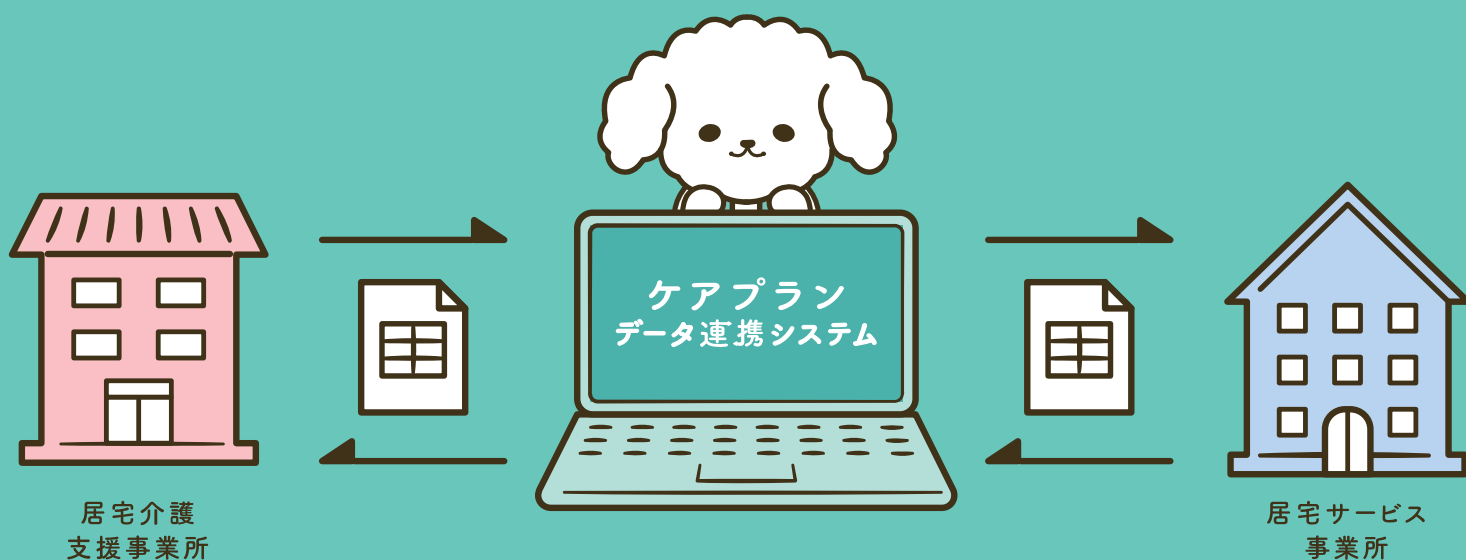
TEL : 0120-584-708 (平日 9:00～17:00)

【ケアプランデータ連携システム サポートサイト】

<https://www.careplan-renkei-support.jp>

介護をつなぐ。心をつなげる。

ケアプラン データ連携システム



ケアプランのやりとりを、
紙からデジタルへ。

公益社団法人
国民健康保険中央会

All-Japan Federation of National Health Insurance Organizations



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

ケアプランデータ連携システムとは

居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、オンラインで完結できる仕組みです。



介護分野の生産性向上を図り、いきいきと働ける職場を実現するためには、ICTを介護現場のインフラとして活用することが重要です。

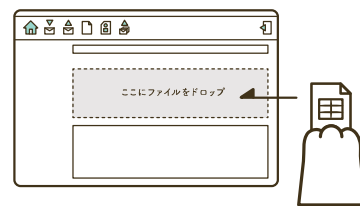
厚生労働省では、事業所間でやりとりされる情報について、データ連携の約束事を「ケアプラン標準仕様」として定めています。

その約束事に従って、異なる介護ソフト同士でも安心してつながれる基盤として、国民健康保険中央会は「ケアプランデータ連携システム」を提供します。

3つのメリット

🖱️ かんたん

計画書(1表、2表)や提供票データ(6表、7表)といったCSVファイルなどを、ドラッグ&ドロップするだけで準備完了。郵送やFAXなどの送付の手間から解放。



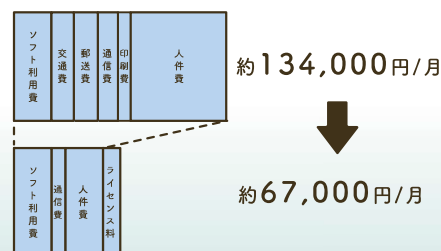
📍 あんしん

記載ミスや書類不備が減り、手戻りが減少。介護報酬請求で使用されているセキュリティ方式を採用し、安全性は万全。導入から運用まで、安心のサポート体制を提供。



📊 さくげん

やりとりにかかる業務時間を約1/3に抑えられる研究結果があります。費用については、ライセンス料21,000円の投資で年間約80万円の削減が見込めます。



推奨の言葉

「今の時代に、なくてはならないもの」だと思います。
ケアマネジャーの仕事である「モニタリング」は
人が行わなければならないものですが、もう一方の
「給付管理」は効率化が可能な事務作業です。
「給付管理」の時間を短くして、「モニタリング」に
あてれば、ケアマネジメントが非常に豊かになって
いくと思います。



国際医療福祉大学大学院
医療福祉経営専攻
石山 麗子教授



居宅介護支援事業所
株式会社トライドマネジメント
長谷川 徹代表

導入したきっかけは、スタッフの負担を減らし、
利用者さんとの時間を取ってほしかったためです。
システムの操作は、ドラッグ & ドロップと、ワン
クリックだけで利用できます。
介護業界の時代が変わる瞬間で、間違いなく
大きな手段の一つだと思います。

利用開始までの流れ

STEP
0

利用申請前の確認



データ連携する事業所と
システム導入時期を
確認します



ご利用の介護ソフトが
ケアプラン標準仕様に
対応しているか確認します



インターネット接続できる
Windows10 以上の
端末を準備します



居宅介護支援事業所と
居宅サービス事業所が
対象です

STEP
1

電子証明書の
インストール



電子証明書の有無・種類を確認
必要に応じて発行申請し
端末にインストールします

STEP
2

ケアプランデータ
連携システムの利用申請



KJではじまる14桁のIDと
有効なパスワードで
システムの利用申請を行います

STEP
3

ケアプランデータ
連携システムのインストール



ケアプランデータ連携システムを
ご利用する端末にシステムを
インストールします

STEP
4

ケアプランデータ
連携システムの利用開始



連携事業所の準備が完了後
ケアプランデータの
送受信を開始します

事前のご確認



パソコン

OS：Windows10またはWindows11（最新のWindows Updateを適用していること）
推奨モニター解像度：1366×768ピクセル以上



ソフトウェア

ブラウザ：Microsoft EdgeまたはGoogle Chrome
PDFビューアー：Adobe Acrobat Reader 推奨

よくある質問

- Q. ケアプランデータ連携システムを導入するにはどのような準備が必要ですか？
- A. 標準仕様に対応した介護ソフトの導入、クライアントソフトと電子証明書のインストール、システム利用申請が必要です。詳細は公式サポートサイト「ケアプランデータ連携システム導入フロー」をご参照ください。
- Q. ライセンス料はいくらでしょうか？
- A. 1事業所番号ごとに年間21,000円（税込）で、1年ごとに更新申請いただく必要があります。
- Q. データ連携できる事業所を教えてください。
- A. 福祉・保健・医療の総合情報サイト『WAM NET（ワムネット）』より検索することができます。
<https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>

公式サイト

詳しいご説明を掲載したサイトをご用意。
使用開始までの手順などを動画つきで解説しています。



ケアプラン ヘルプデスク

検索



<https://www.careplan-renkei-support.jp/index.html>

電話でのお問い合わせ

TEL 0120-584-708

受付時間 9:00～17:00（土日祝日は除く）
年末年始（12月29日～1月3日）は、お休みさせていただきます。

公式キャラクター
「ケアプー」



ケアプラン データ連携システム

30秒で
削減効果
を診断

データ連携による削減効果を
かんたんシミュレーション

～概要・使い方ガイド～





シミュレーションツールの概要

ケアプランデータ連携システムを導入することで得られる効果を簡単に調べることができるツールをご用意しました。

たった**5つ**の数値を入力するだけで、システム導入後の費用対効果をシミュレーションできます。

※令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しているため、シミュレーション数値は主に居宅介護支援事業所における概算値となっています。

あなたの事業所について教えてください	入力欄	
1. 提供票作成・共有業務を行う職員の数 ※1事業所当たりの、提供票作成・共有業務を行う職員数を入力ください		人
2. 事業所数 ※事業所番号が複数ある場合、その数を入力ください		事業所
3. 取引事業所数 ※提供票共有先の事業所数		事業所
4. 取引事業所内の、ケアプランデータ連携システムの対象となる事業所数 ※ケアプランデータ連携システムを導入（もしくは導入見込み）のある事業所数を入力ください		事業所
5. ご利用者の人数 ※「事業所数」で記入した事業所全体の利用者の人数を入力ください		人

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

結果出力のページに結果が表示されます



30秒で費用対効果を簡単診断



削減できる金額・時間が数値で見える化



事業所ごとの数値シミュレーションが可能



シミュレーションツールでわかること

データ連携によって削減できる金額はもちろん、さらには削減時間も簡単にシミュレーションすることができます。
介護現場の負担軽減や職場環境の改善効果をシミュレーションツールを通じて見える化できます。

あなたの事業所のシミュレーション結果

ケアプランデータ連携システムを導入することで
あなたの事業所の削減額、削減時間(目安)を診断しました

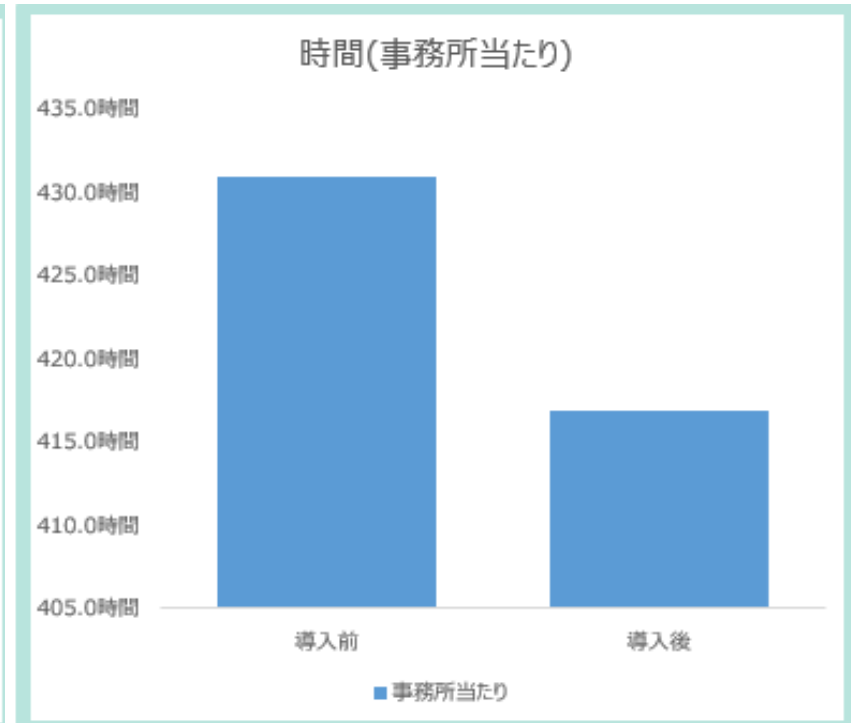
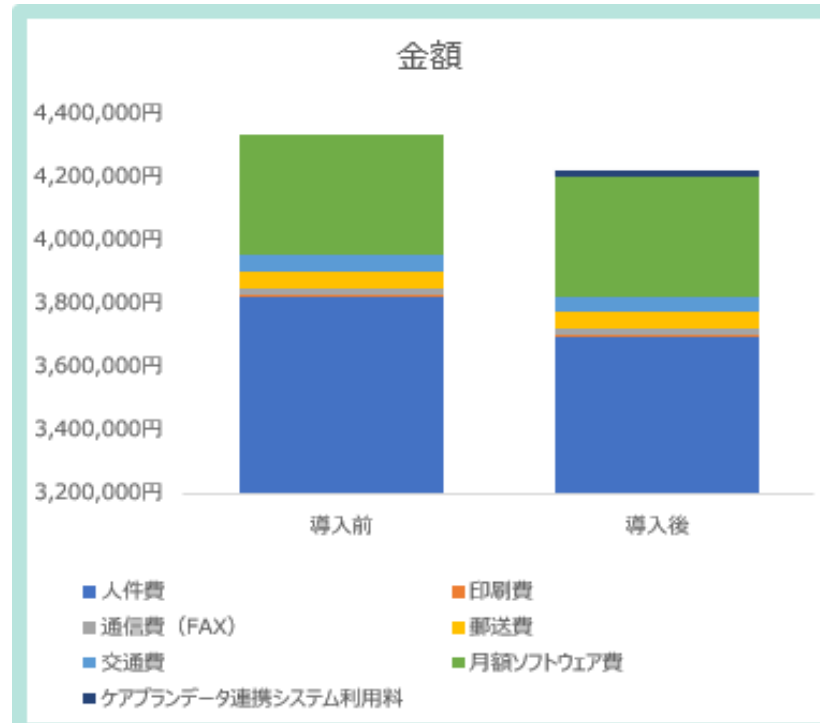
削減額 **110,937** 円/年間
削減時間 **14.1** 時間/年間

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

詳細な内訳

金額	項目	導入前	導入後	差分
	人件費	3,819,653円	3,694,369円	125,285円
	印刷費	6,336円	6,019円	317円
	通信費 (FAX)	19,008円	18,058円	950円
	郵送費	54,720円	51,984円	2,736円
	交通費	52,992円	50,342円	2,650円
	月額ソフトウェア費	377,004円	377,004円	0円
	ケアプランデータ連携システム利用料	0円	21,000円	-21,000円
	合計			110,937円

時間	項目	導入前	導入後	差分
	一人当たり	107.8時間	104.2時間	3.5時間
	事務所当たり	431.0時間	416.9時間	14.1時間






ツールのダウンロード方法

1 説明資料欄からダウンロード(Excelファイルをクリック)

説明資料はこちら




ケアプランデータ連携システムについて
～システムの基本概要と機能及びシステム導入・利用サポート～

ダウンロード

ケアプランデータ連携システムについて
～システムの基本概要と機能及びシステム導入・利用サポート～

追加資料：ケアプランデータ連携システム操作マニュアル 第1.02版

ダウンロード



データ連携による費用対効果もかんたんシミュレーション
～かんたんシミュレーション～


ダウンロード

ダウンロード(Excelファイル)

NEW データ連携による費用対効果もかんたんシミュレーションツール
～かんたんシミュレーション～

添削資料・使いかたガイド

ダウンロード




【厚生労働省作成資料】介護現場における生産性向上について
～ケアプランデータ連携システム導入のねらいと期待される効果～

ダウンロード

NEW 【厚生労働省作成資料】介護現場における生産性向上について
～ケアプランデータ連携システム導入のねらいと期待される効果～

ダウンロード



【厚生労働省作成資料】ケアプランデータ連携を想定した課題分析と業務改善計画案

ダウンロード

NEW 【厚生労働省作成資料】ケアプランデータ連携を想定した課題分析と業務改善計画案

ダウンロード

2 Excelファイルが自動でダウンロードされます

ダウンロード

ケアプランデータ連携システム_シミュレーションツール.xlsx
ファイルを開く

5つの質問で導入後の効果を診断
かんたんシミュレーションツール

あなたの事業所について教えてください	入力欄
1. 提供票作成・共有業務を行う職員の人数 ※1事業所当たりの、提供票作成・共有業務を行う職員数を入力ください	4人
2. 事業所数 ※事業所番号が複数ある場合、その数を入力ください	1事業所
3. 取引事業所数 ※提供票共有先の事業所数	60事業所
4. 取引事業所内の、ケアプランデータ連携システムの対象となる事業所数 ※ケアプランデータ連携システムを導入（もしくは導入見込み）のある事業所数を入力ください	3事業所
5. ご利用者の人数 ※「事業所数」で記入した事業所全体の利用者の人数を入力ください	120人

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健制度評価事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

結果出力のページに結果が表示されます

入力欄
4人
1事業所
60事業所
3事業所
120人

結果出力のページに結果が表示されます



ツールの使い方・手順

1 入力ページへ進む

5つの質問で導入後の効果を診断 かんたんシミュレーションツール

あなたの事業所について教えてください	入力欄	
1. 提供票作成・共有業務を行う職員の数 ※1事業所当たりの、提供票作成・共有業務を行う職員数を入力ください		人
2. 事業所数 ※事業所番号が複数ある場合、その数を入力ください		事業所
3. 取引事業所数 ※提供票共有先の事業所数		事業所
4. 取引事業所内の、ケアブランド連携システムの対象となる事業所数 ※ケアブランド連携システムを導入（もしくは導入見込み）のある事業所数を入力ください		事業所
5. ご利用者の人数 ※「事業所数」で記入した事業所全体の利用者の人数を入力ください		人

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

結果出力のページに結果が表示されます

2 事業所情報を入力する

5つの質問で導入後の効果を診断 かんたんシミュレーションツール

あなたの事業所について教えてください	入力欄	
1. 提供票作成・共有業務を行う職員の数 ※1事業所当たりの、提供票作成・共有業務を行う職員数を入力ください		4人
2. 事業所数 ※事業所番号が複数ある場合、その数を入力ください		1事業所
3. 取引事業所数 ※提供票共有先の事業所数		60事業所
4. 取引事業所内の、ケアブランド連携システムの対象となる事業所数 ※ケアブランド連携システムを導入（もしくは導入見込み）のある事業所数を入力ください		3事業所
5. ご利用者の人数 ※「事業所数」で記入した事業所全体の利用者の人数を入力ください		120人

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

結果出力のページに結果が表示されます

3 結果出力ページからシミュレーション結果を見る

あなたの事業所のシミュレーション結果

ケアブランド連携システムを導入することで
あなたの事業所の削減額、削減時間(目安)を診断しました

削減額 **110,937** 円/年間

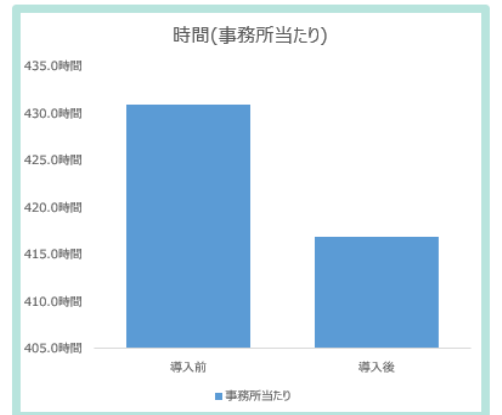
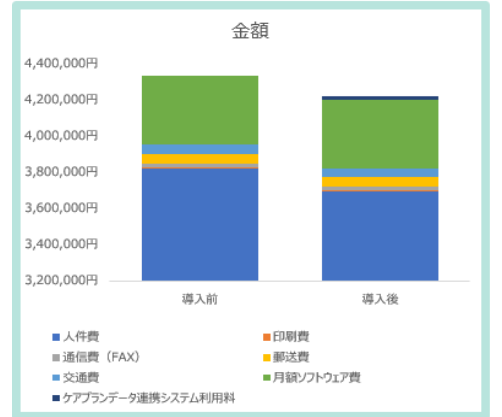
削減時間 **14.1** 時間/年間

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

詳細な内訳


金額	項目	導入前	導入後	差分
	人件費	3,819,653円	3,694,369円	125,285円
	印刷費	6,336円	6,019円	317円
	通信費 (FAX)	19,008円	18,058円	950円
	郵送費	54,720円	51,984円	2,736円
	交通費	52,992円	50,342円	2,650円
	月額ソフトウェア費	377,004円	377,004円	0円
	ケアブランド連携システム利用料	0円	21,000円	-21,000円
	合計			110,937円

時間	項目	導入前	導入後	差分
	一人当たり	107.8時間	104.2時間	3.5時間
	事務所当たり	431.0時間	416.9時間	14.1時間



お問い合わせ

ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイト

 0120-584-708

受付時間 9:00～17:00（土日祝日は除く）
[問い合わせフォーム](#)からも受け付けています



社会保障審議会 介護給付費分科会（第239回）	資料 1
令和 6 年1月22日	

令和 6 年度介護報酬改定の主な事項について

厚生労働省 老健局

介護支援専門員 1 人当たりの取扱件数（報酬）

告示改正

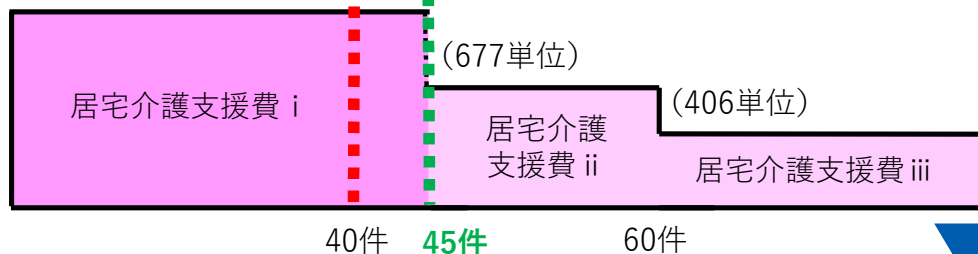
- 居宅介護支援費（Ⅰ）に係る介護支援専門員の一人当たり取扱件数について、現行の「40未満」を「45未満」に改めるとともに、居宅介護支援費（Ⅱ）の要件について、ケアプランデータ連携システムを活用し、かつ、事務職員を配置している場合に改め、取扱件数について、現行の「45未満」を「50未満」に改める。また、居宅介護支援費の算定に当たっての取扱件数の算出に当たり、指定介護予防支援の提供を受ける利用者数については、3分の1を乗じて件数に加えることとする。

居宅介護支援

例：要介護 3・4・5 の場合

【現行】

(1,398単位)



居宅介護支援費（Ⅱ）の算定要件

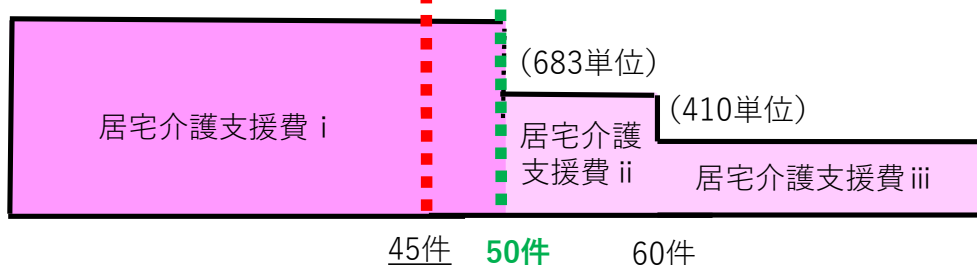
ICT機器の活用または
事務職員の配置

指定介護予防支援の提供を受け
る利用者数の取扱件数

2分の1換算

【改定後】

(1,411単位)



居宅介護支援費（Ⅱ）の算定要件

ケアプランデータ連携システムの
活用及び事務職員の配置

指定介護予防支援の提供を受け
る利用者数の取扱件数

3分の1換算